



月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.8.19 No. 4645

今こそ... 改憲反対・戦争反対の 大きなゆりかご! 8.15 労働者 市民のつどい

敗戦から 五二年...

敗戦から五二年目をむかえた八月一日。東京・中野ゼロホールにおいて、「許すな憲法改悪! 阻もう有事立法! 八・一五労働者・市民の集い」が集会実行委員会の主催で開催されました。

この集いは、九五年の「戦後五〇年を問う、八・一五労働者・市民の集い」として始められて、今年で三回目となりました。とくに、今年には憲法が施行されて五〇年になります。この節目の年は、読売新聞の「改憲試案」の発表や、改憲派国会議員による「憲法制度調査委員会設置推進議員連盟」の発足など、改憲キャンペーンが展開され、戦争放棄を掲げ、人権の尊重をうたった憲法を改悪する動きがいつになく強まる年になっています。

さらには、六月に中間報告が発表され、九月に改定されようとしている日米防衛協力ガイドラインは、自衛隊と米軍が朝鮮半島での有事に戦争を想定した軍事行動計画そのものであり、集団的自衛権の行使を禁じた憲法九条を真っ向から否定するものです。

また秋には、労働組合ももちろん含めるかたちで、改憲反対や反戦をかかげる、政府に都合

人生振り返り 平和の尊さか



集会を主催する本島市長(左)と知花さん(右) 15日午後

いかに行動する

この悪い団体と運動をつぶすことを目的とした治安立法である、組織的犯罪対策法―盗聴法案の国会上程も狙われています。

こうした状況の中で開催された本集いは、第三部のパネル・ディスカッションで、ノーマ・フィールドさんが、「今、日本は危険な状態」と述べたように、日本が、「いつかきた道」に逆行しそうな時、「問う」ことから始まり、「労働者・市民として」いかに「考え・行動する

のか」を、八月一日という日に初めて見つめなおした、大変有意義な集会となりました。

中本

年を問う8・15労働者・市民の集い」が開かれた。コソント集団ザニクスパーティーが、改憲への動きなど憲法を取り巻く現状を風刺を込めた笑いで表現。「せっかく持った武器を使いたくない」と自衛隊員役が叫ぶなど会場を沸かせた。
【続】くパネルディスカッション。沖繩の反戦地主、知花昌一さん(49)が「駐留軍用地特別措置法」といった憲法違反の法律がやすすと通ってしまった。の遺言です」と語った。

パネル・ディスカッションの様子。
翌日の新聞報道が8/16付毎日

集会の第一部は、常に「今」の時代を追いながら、鋭い批判精神で最新の笑いを提供する人気のコントグループ、ザ・ニュースペーパーです。改憲をめぐる状況をコントでわかりやすく表現していました。
第二部は、元立正大学名誉教授で憲法学者の星野安三郎さんが、「日米安保ガイドラインと憲法」と題して、そして、われらが労働千葉の田中書記長が、「改憲を阻むのは労働者の力」と題して、それぞれ講演を行いました。
第三部は、「天皇の逝く国で」という本を書いた、アメリカのノーマ・フィールドさん、こ

組織犯罪対策法反対集会 13じ
東京・星陵公館 / 集料、ちば 11.16 快
「つばせ! 盗聴法、許すな! 警察管理社会」